

県内の景気動向

概況（2025年5月）

景気は、緩やかに拡大している（21カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、節約志向が継続しているものの、旺盛な観光需要を背景に回復の動きが強まっていること、建設関連は、手持ち工事額は高水準で推移しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、国内外ともに旅行需要が好調に推移し、拡大の動きが強まっていること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、旺盛な観光需要にけん引され底堅い推移が見込まれることから、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、2カ月連続で前年を上回った。中国の労働節休暇に伴い免税売上が増加し全体を押し上げた。スーパー売上高は、値上げによる単価上昇などにより既存店・全店ベースともに36カ月連続で前年を上回った。新車販売台数は、一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響がみられた前年同月の反動増などにより6カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（4月）は、21カ月ぶりに前年を下回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、旺盛な観光需要を背景に底堅い推移が見込まれることから、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、国、県は増加したが、市町村、独立行政法人等・その他は減少したことから3カ月ぶりに前年を下回った。建築着工床面積（4月）は、非居住用は減少したが、居住用は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。新設住宅着工戸数（4月）は、貸家は減少したが、持家、給与住宅、分譲は増加したことから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は増加したが、民間工事は減少したことから3カ月連続で前年を下回った。建設資材関連では、セメントは3カ月連続で前年を上回り、生コンは3カ月ぶりに前年を下回った。鋼材売上高は3カ月ぶりに前年を下回り、木材売上高は9カ月連続で前年を下回った。

先行きは、建設資材の動向を注視する必要があるものの、手持ち工事額は引き続き高水準での推移が見込まれることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、42カ月連続で前年を上回った。国内客は11カ月連続で増加し、外国客は32カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は14カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入ともに12カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は39カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は5カ月連続で減少し、売上高は6カ月ぶりに前年を下回った。一部では悪天候の影響もみられたが、大型連休の旅行需要や外国客の増加により、引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、夏の旅行シーズンに向けた国内客の旅行需要の高まりが予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数は、前年同月比 6.0%減と 2 カ月ぶりに前年を下回った。産業別にみると、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業、製造業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は 1.09 倍で、前月から 0.01 ポイント低下した。完全失業率（季調値）は 3.0%と、前月から 0.9 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 3.8%の上昇となり、45 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 3.8%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 1.6%の上昇となった。

倒産件数は 2 件で前年同月から 2 件減少した。負債総額は 2 億 8,000 万円で、前年同月比 409.1%増となった。

りゅうぎん調査（2025年5月）

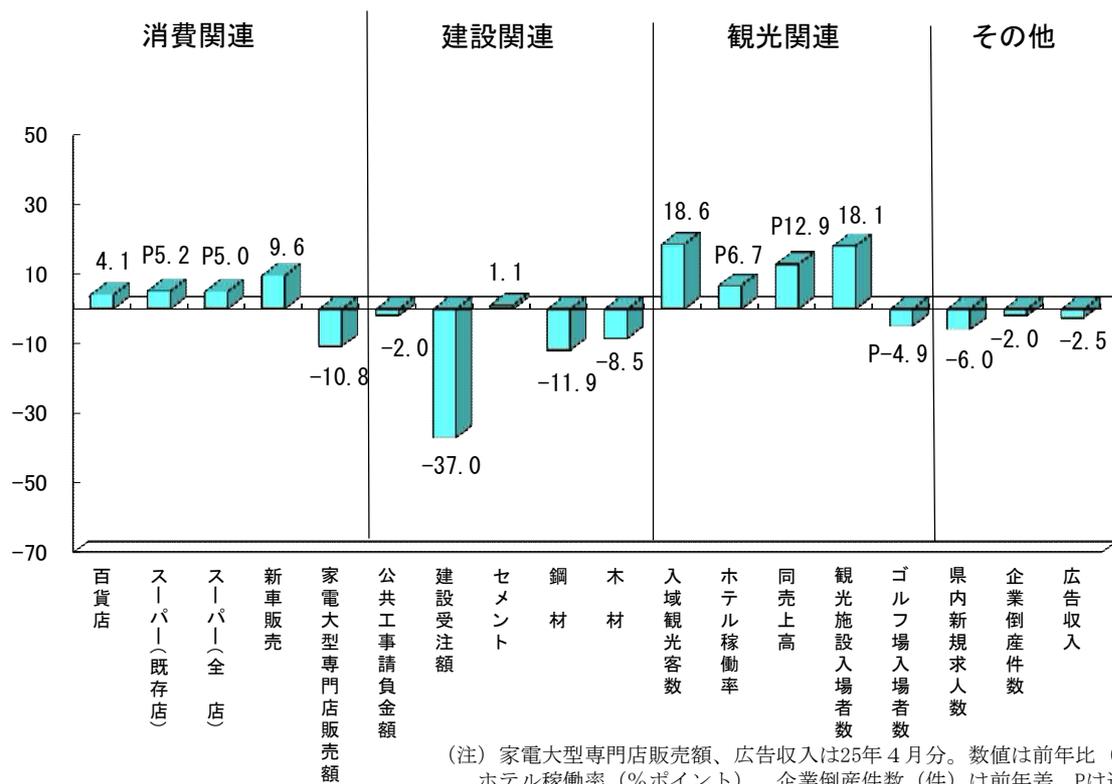
	前年同月比		前年同期比 (2025.3－2025.5)	
1. 消費関連				
(1) 百貨店(金額)		4.1		2.7
(2) スーパー(既存店)(金額)		P 5.2		P 4.6
(3) スーパー(全店)(金額)		P 5.0		P 4.8
(4) 新車販売(台数)		9.6		18.1
(5) 家電大型専門店販売額(金額)	(4月)	▲ 10.8	(2-4月)	▲ 0.2
2. 建設関連				
(1) 公共工事請負金額(金額)		▲ 2.0		64.1
(2) 建築着工床面積(m ²)	(4月)	6.9	(2-4月)	4.8
(3) 新設住宅着工戸数(戸)	(4月)	21.4	(2-4月)	31.2
(4) 建設受注額(金額)		▲ 37.0		▲ 45.2
(5) セメント(トン数)		1.1		6.1
(6) 生コン(m ³)		▲ 2.5		2.2
(7) 鋼材(金額)		▲ 11.9		5.4
(8) 木材(金額)		▲ 8.5		▲ 5.9
3. 観光関連				
(1) 入域観光客数(人数)		18.6		13.6
うち外国客数(人数)		62.3		49.6
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P	6.7	(前年同期差) P	5.5
	(実数) P	59.2	(実数) P	63.5
(3) " 売上高(金額)		P 12.9		P 10.9
(4) 観光施設入場者数(人数)		18.1		16.1
(5) ゴルフ場入場者数(人数)		P ▲ 4.9		P ▲ 4.0
(6) " 売上高(金額)		P ▲ 0.9		P 2.3
4. その他				
(1) 県内新規求人数(人数)		▲ 6.0		▲ 5.0
(2) 有効求人倍率(季調値)		1.09		1.09
(3) 消費者物価指数(総合)		3.8		4.2
(4) 企業倒産件数(件数)	(前年同月差)	▲ 2	(前年同期差)	▲ 11
(5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)	(4月)	▲ 2.5	(2-4月)	▲ 1.4

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

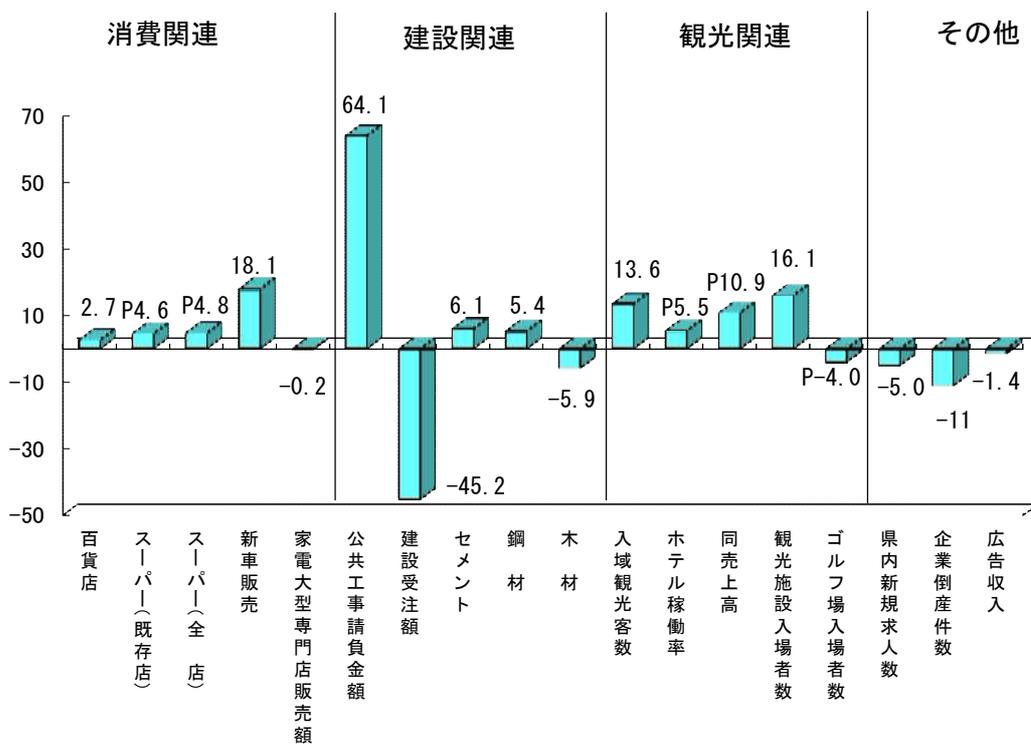
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

(注2) 有効求人倍率(季調値)と県内新規求人数(人数)は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2025年5月)

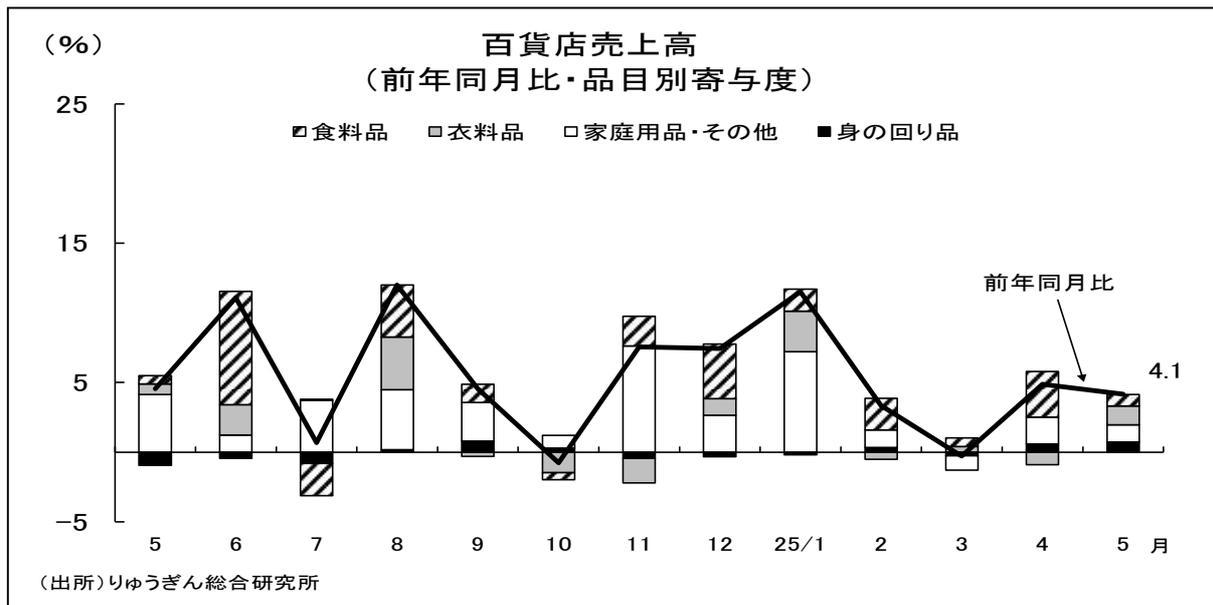


項目別グラフ(3カ月、2025年3月~2025年5月)



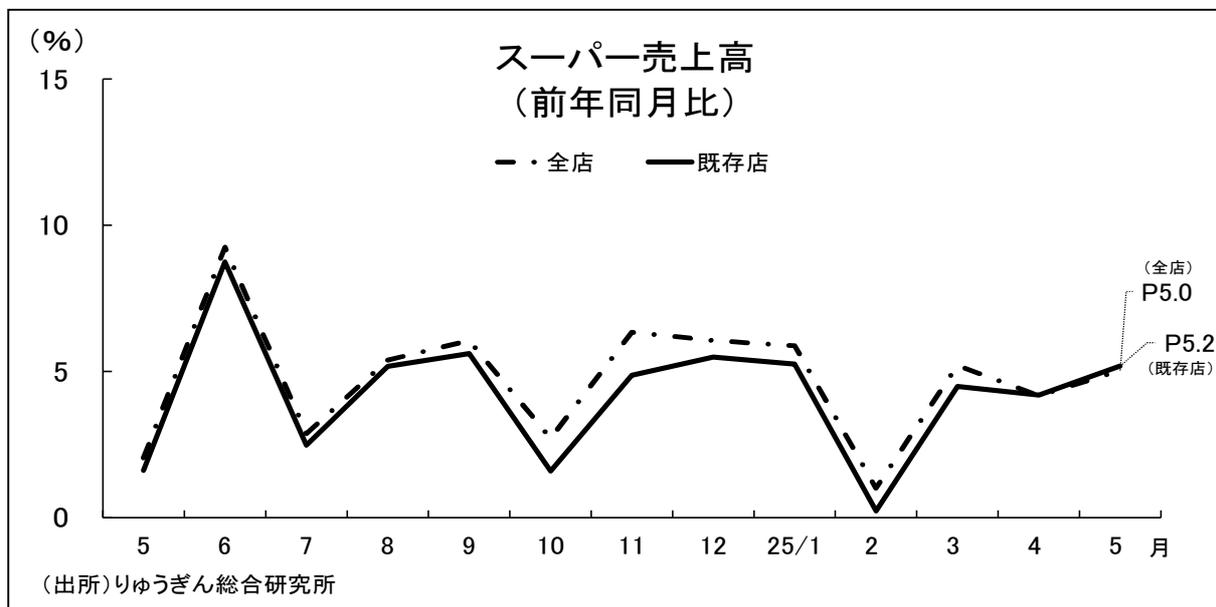
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：2カ月連続で増加



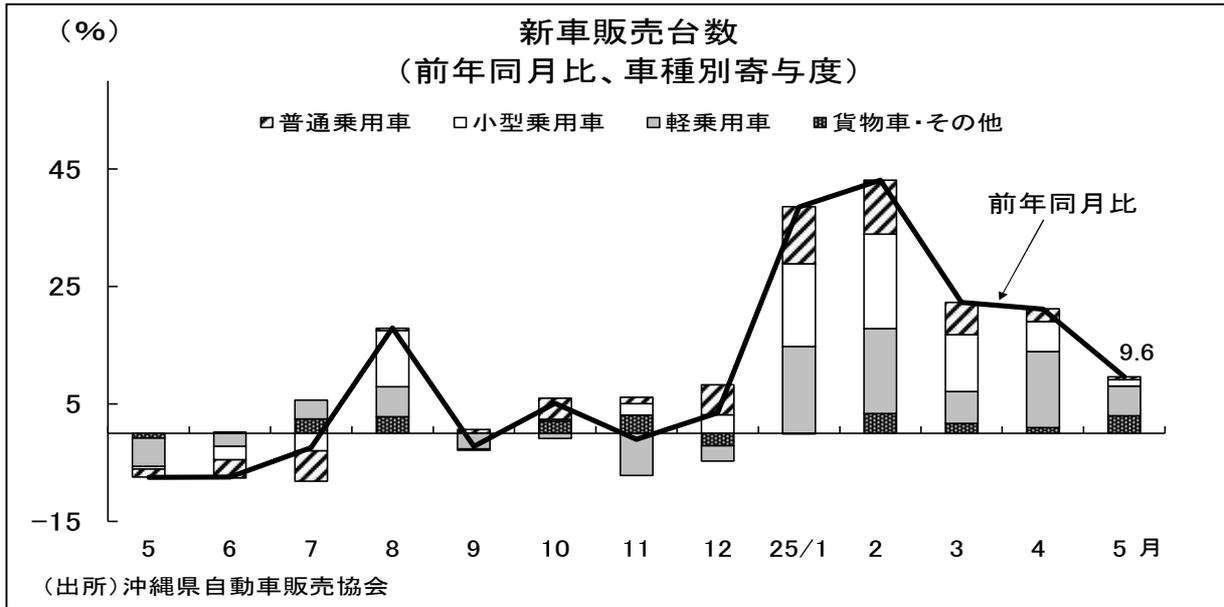
- 百貨店売上高は、前年同月比4.1%増と2カ月連続で前年を上回った。
- 前年同月との催事企画の相違などから来店客数は減少したものの、中国の労働節休暇（5/1～5）に伴い免税売上が増加し全体を押し上げた。
- 品目別にみると、食料品が同2.5%増、家庭用品・その他が同4.1%増、身の回り品が同13.0%増、衣料品が同4.4%増となった。

(2) スーパー売上高：既存店・全店ともに36カ月連続で増加



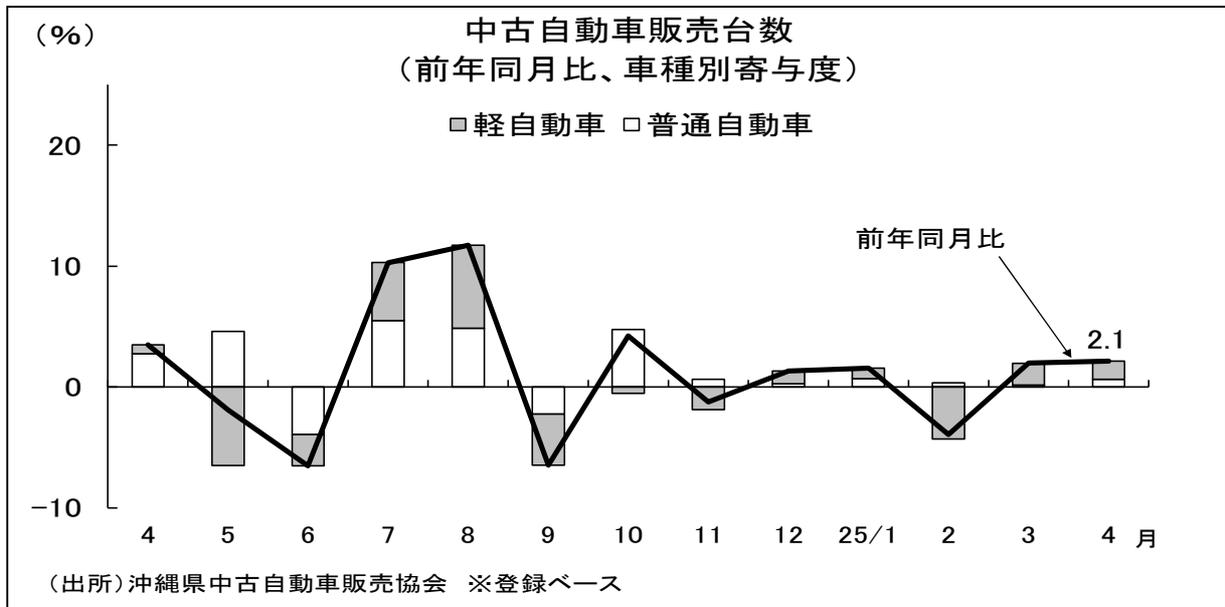
- スーパー売上高（速報値）は、既存店ベースは前年同月比5.2%増と36カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、節約志向の継続から買上点数が減少傾向にあるものの、値上げによる単価上昇などにより同5.1%増となった。衣料品は、中旬以降の気温上昇によりかりゆしウェアなどの季節衣料が好調に推移したことなどから同10.3%増、住居関連は同2.2%増となった。
- 全店ベースは同5.0%増と36カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：6カ月連続で増加



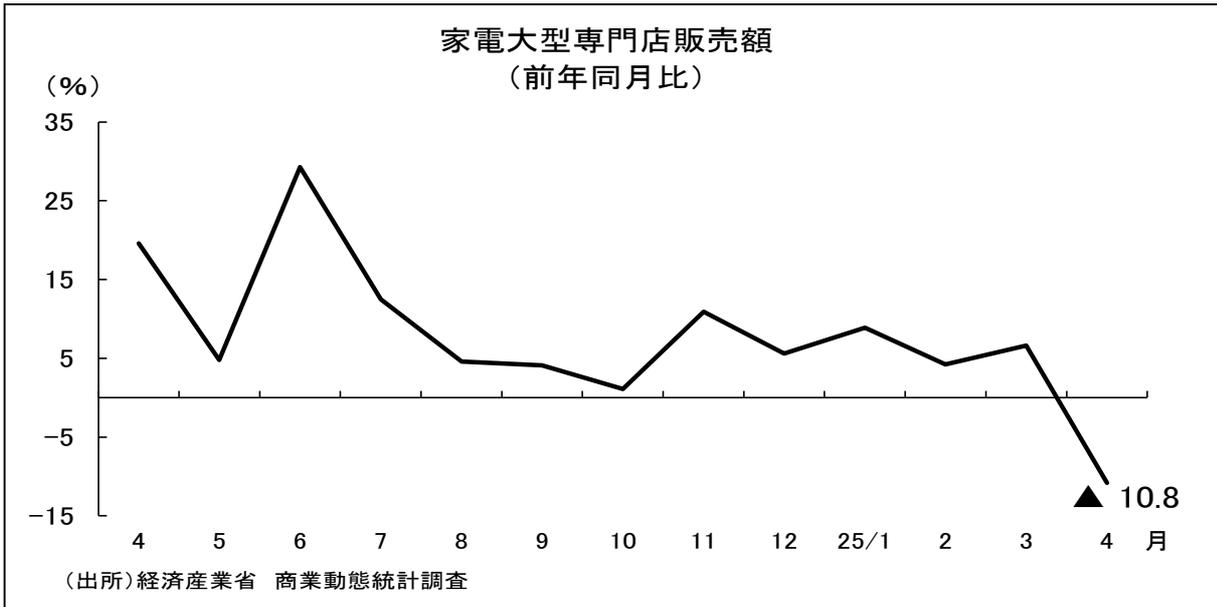
- ・ 新車販売台数は3,354台で前年同月比9.6%増と、6カ月連続で前年を上回った。
- ・ 一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響がみられた前年同月の反動増などにより前年を上回った。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は1,703台（前年同月比4.0%増）で、うち普通乗用車は646台（同2.4%増）、小型乗用車は898台（同3.8%増）であった。軽自動車（届出車）は1,651台（同16.0%増）で、うち軽乗用車は1,238台（同14.2%増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（再掲、登録ベース）：2カ月連続で増加



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、2万195台で前年同月比2.1%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,553台（前年同月比1.7%増）、軽自動車が1万2,642台（同2.4%増）となった。

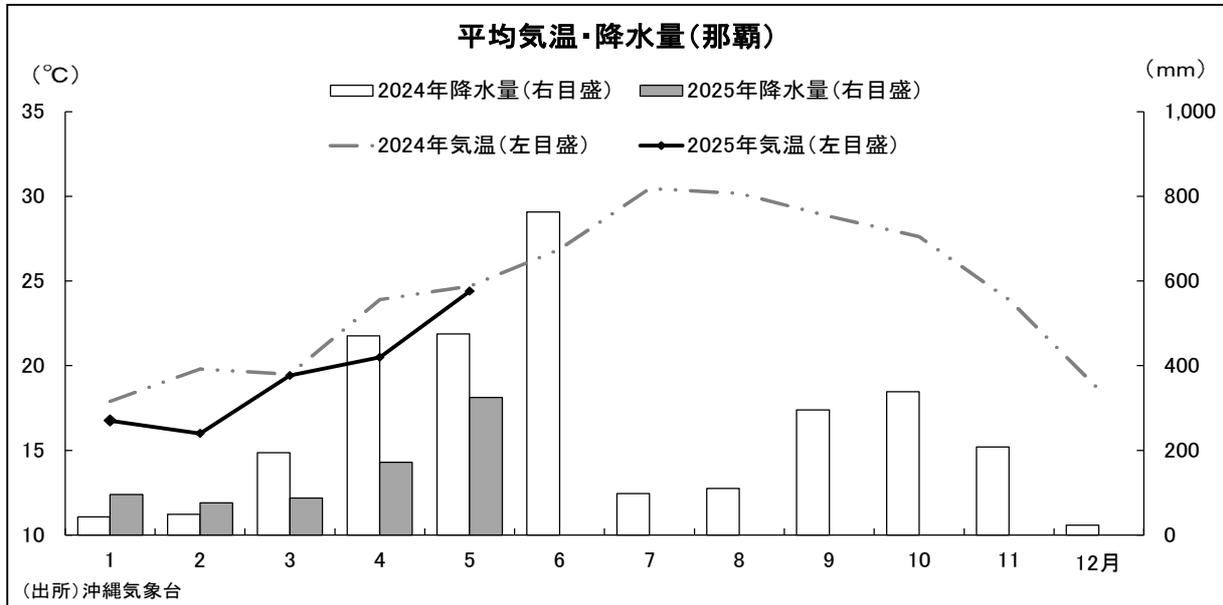
(5) 家電大型専門店販売額：21 カ月ぶりに減少



- ・ 家電大型専門店販売額（4月）は、前年同月比 10.8%減と 21 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 平均気温が低く推移したことで、エアコンをはじめとする季節家電の需要低下が下押し要因となり前年を下回った。

(参考)

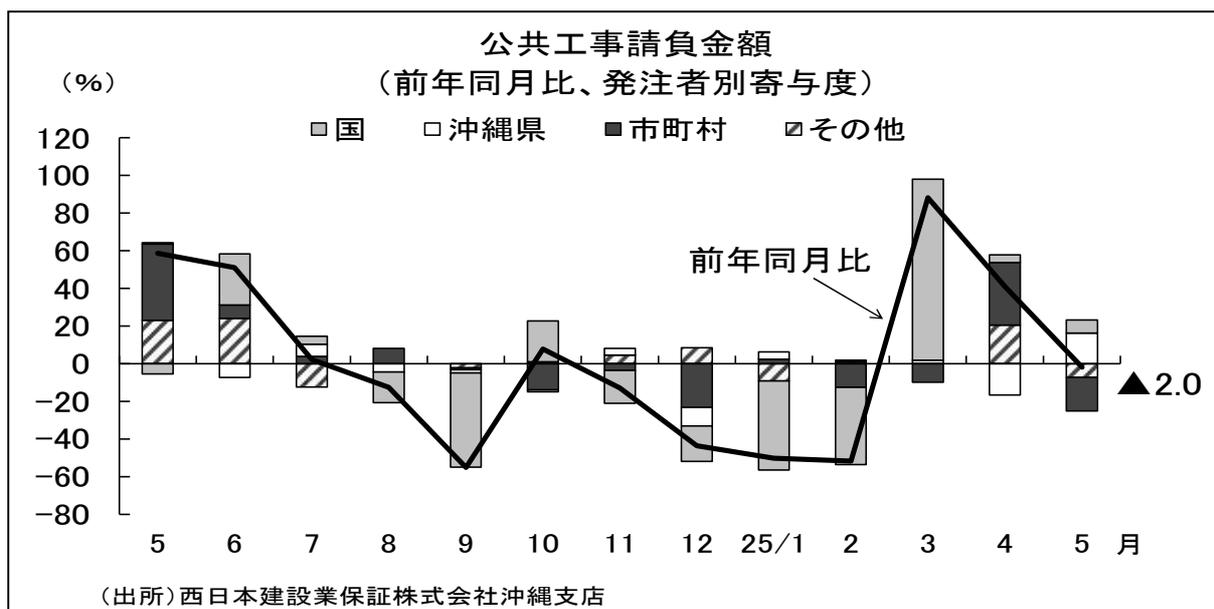
◇ 気象: 平均気温・降水量 (那覇)



- ・ 平均気温は 24.4°C で前年同月 (24.7°C) より低く、降水量は 325.0mm で前年同月 (475.0mm) より少なかった。
- ・ 沖縄地方は、上旬や下旬は前線や低気圧、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所があったが、中旬を中心に晴れた日もあった。
- ・ 平均気温、日照時間は平年並み、降水量は平年より多かった。
- ・ 梅雨入りは 5月 22 日ごろとみられ、平年より 12 日遅く、前年より 1 日遅かった。

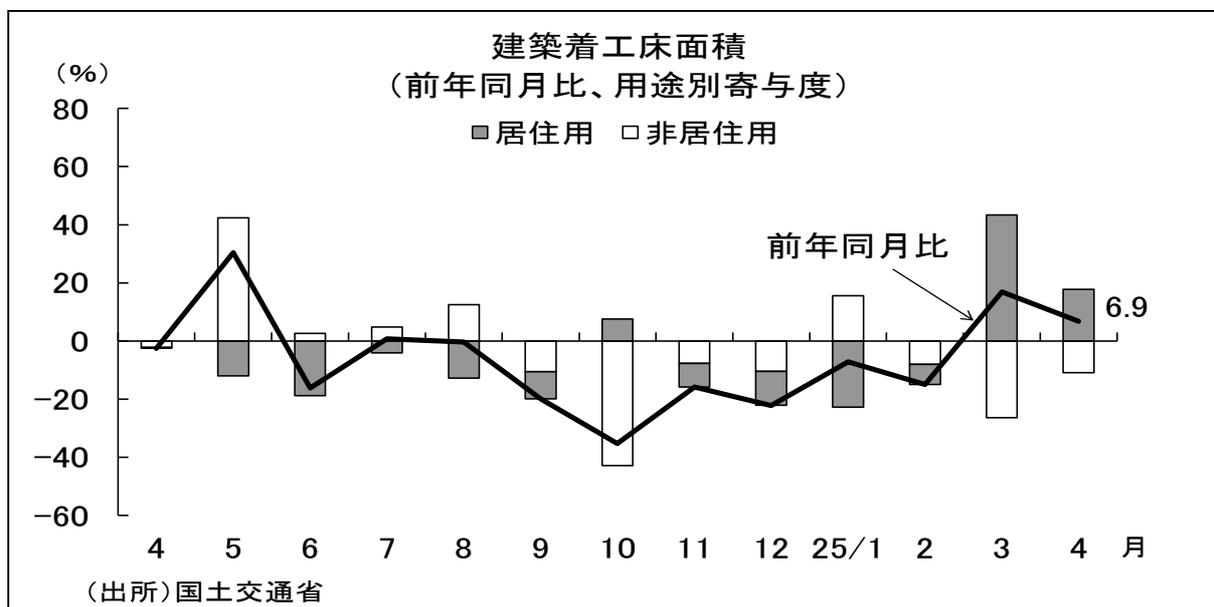
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：3カ月ぶりに減少



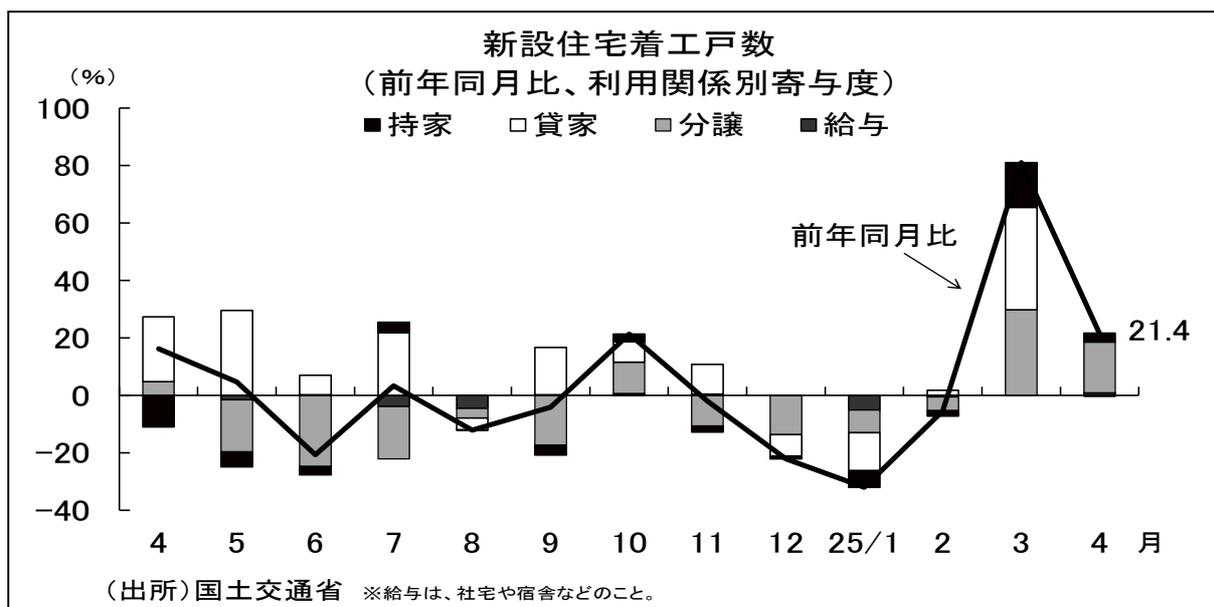
- 公共工事請負金額は、219億68百万円で前年同月比2.0%減となり、3カ月ぶりに前年を下回った。
- 発注者別では、国は同52.2%増、県は同60.9%増となり、市町村は同39.2%減、独立行政法人等・その他は同50.5%減となった。

(2) 建築着工床面積：2カ月連続で増加



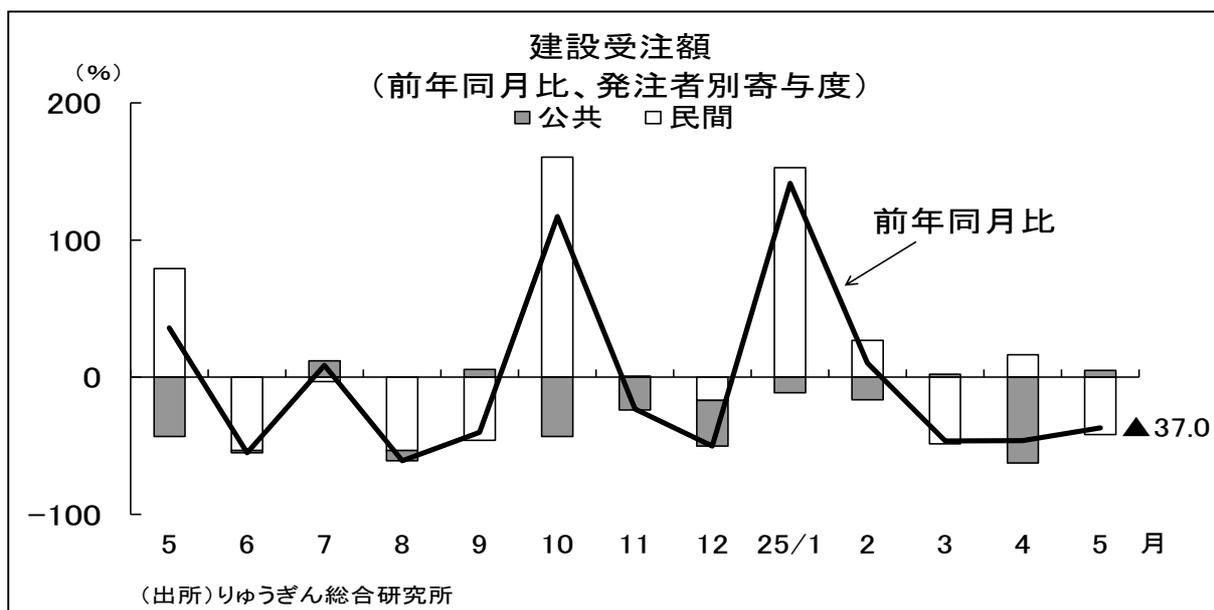
- 建築着工床面積(4月)は11万5,546㎡で前年同月比6.9%増と2カ月連続で前年を上回った。居住用は同29.9%増となり、非居住用は同27.0%減となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用、居住産業併用ともに増加した。非居住用では、電気・ガス・熱供給・水道業用などが増加し、飲食店・宿泊業用、教育・学習支援業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：2カ月連続で増加



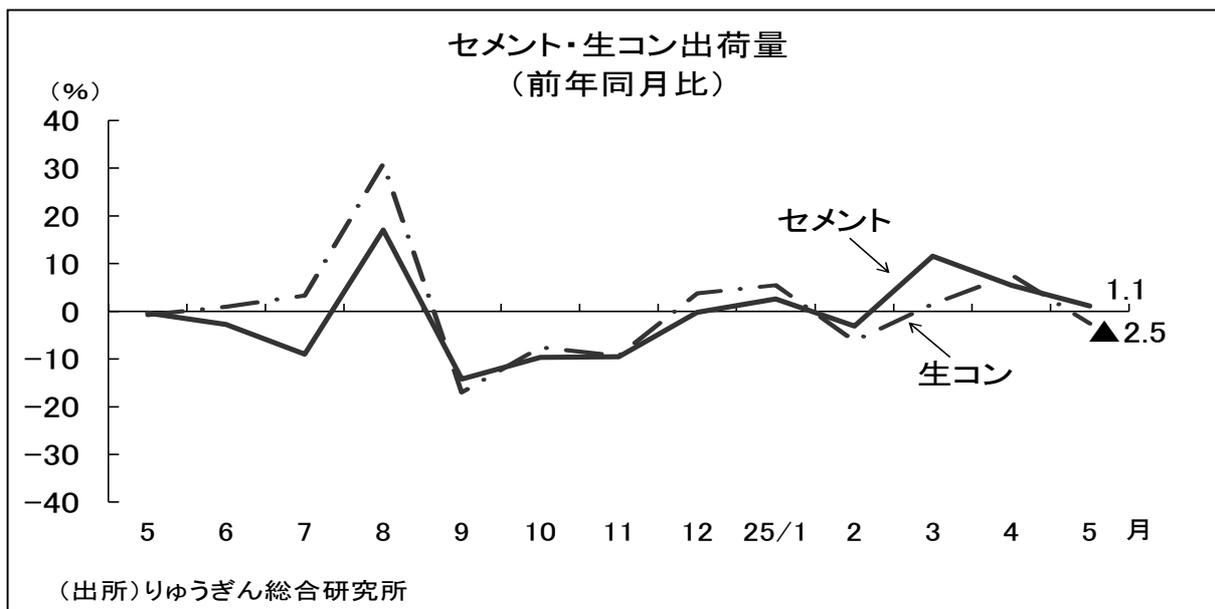
- ・ 新設住宅着工戸数（4月）は1,034戸で前年同月比21.4%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 利用関係別では、持家（189戸）が同16.7%増、給与住宅（8戸）が同700.0%増、分譲（343戸）が同78.6%増となり、貸家（494戸）が同0.6%減となった。

(4) 建設受注額：3カ月連続で減少



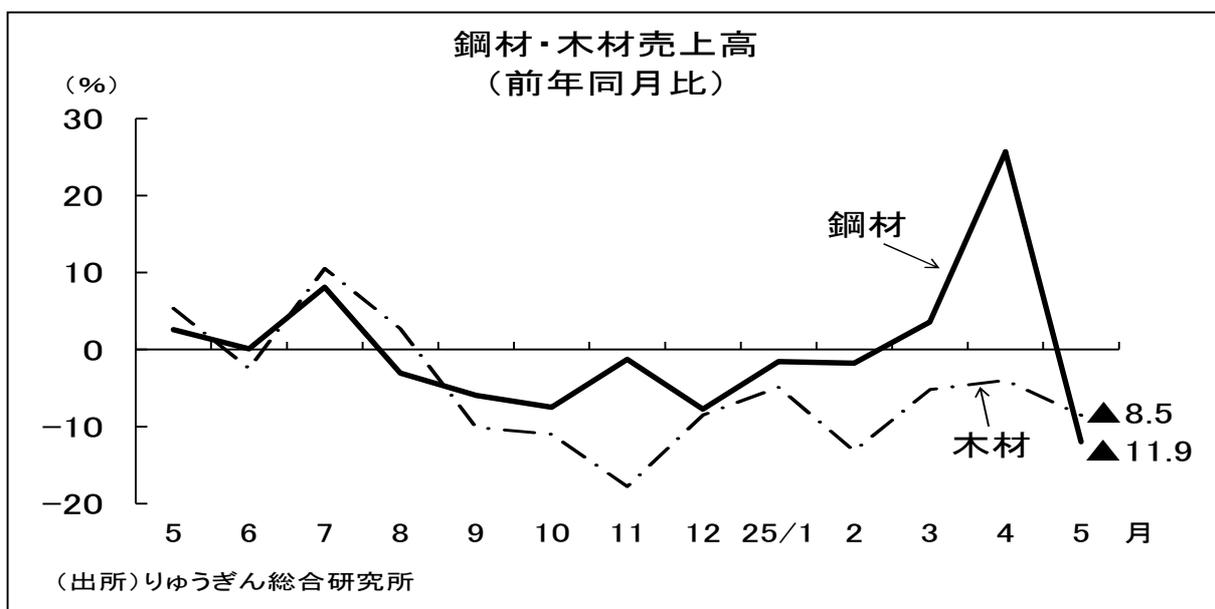
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比37.0%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同22.4%増と2カ月ぶりに増加し、民間工事は同54.2%減と2カ月ぶりに減少した。

(5) セメント・生コン：セメントは3カ月連続で増加、生コンは3カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は5万9,691トンとなり、前年同月比1.1%増と3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 生コン出荷量は9万1,976 m³で同2.5%減と3カ月ぶりに前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、庁舎関連向けなどが増加し、学校関連向け、公共施設向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向けなどが増加し、マンション向け、社屋関連向けなどが減少した。

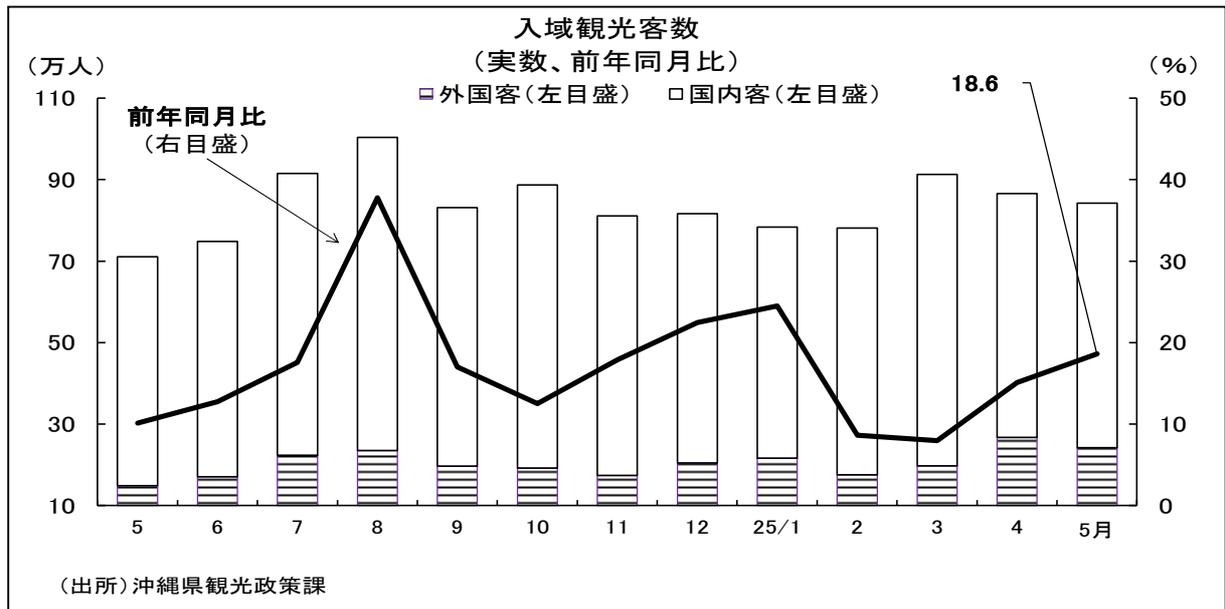
(6) 鋼材・木材：鋼材は3カ月ぶりに減少、木材は9カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、出荷量が減少したこと、鋼材価格が下落したことなどから前年同月比11.9%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したこと、木材価格が下落したことなどから同8.5%減と9カ月連続で前年を下回った。

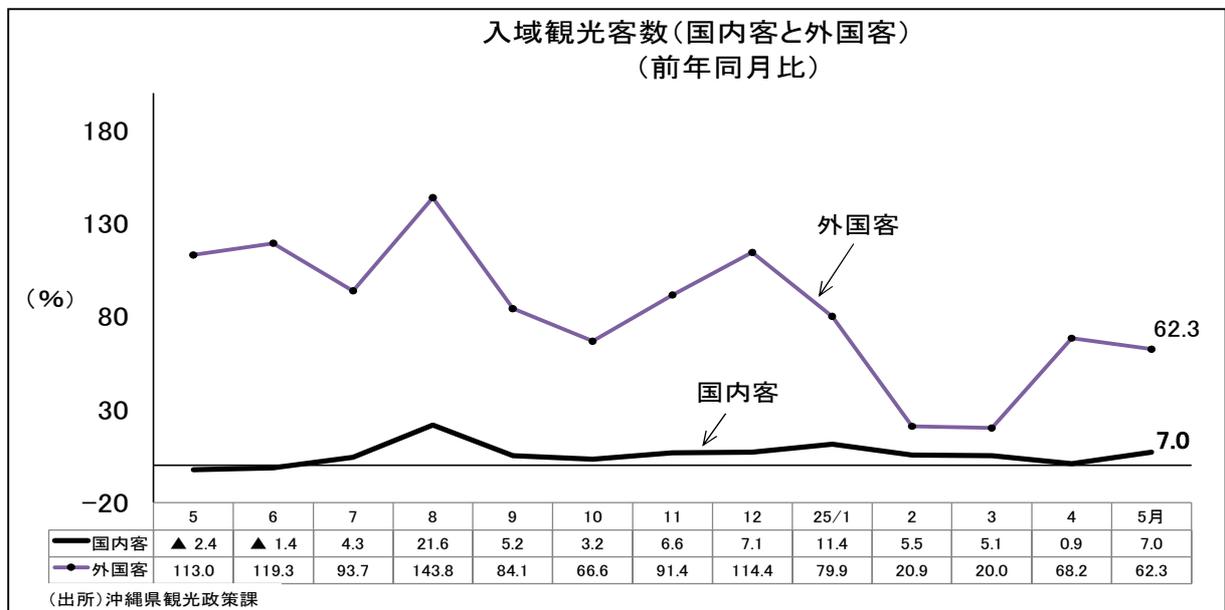
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：42カ月連続で増加



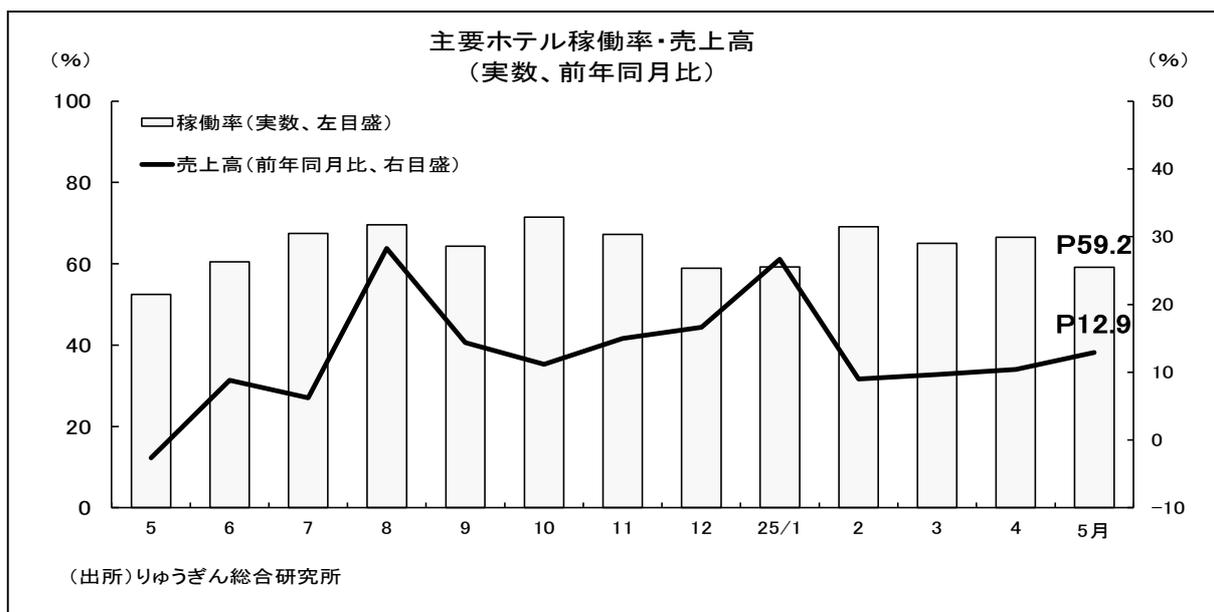
- 入域観光客数は、84万2,700人(前年同月比18.6%増)となり、42カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は75万5,100人(同12.5%増)となり42カ月連続で前年を上回った。海路は8万7,600人(同122.3%増)となり2カ月連続で前年を上回った。

(2) 入域観光客数(国内客、外国客)：国内客は11カ月連続で増加、外国客は32カ月連続で増加



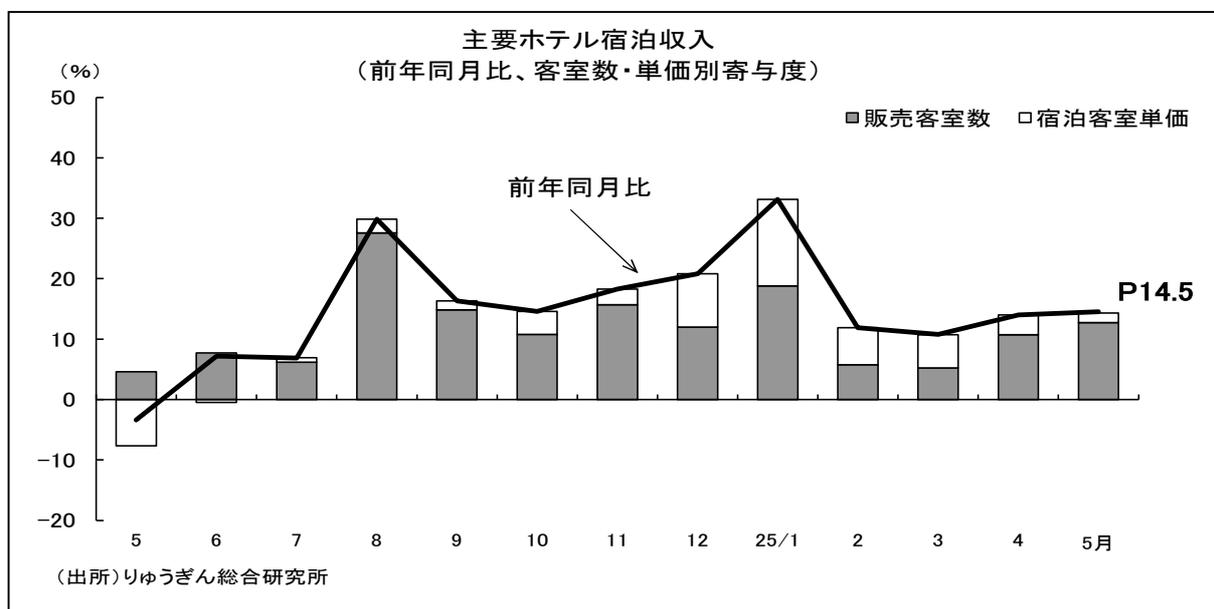
- 国内客は、60万1,000人(前年同月比7.0%増)となり、11カ月連続で前年を上回った。外国客は24万1,700人(同62.3%増)となり、32カ月連続で増加した。
- 大型連休による航空会社の増便や、県内各所のイベント等により好調な推移となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は14カ月連続で上昇、売上高は12カ月連続で増加



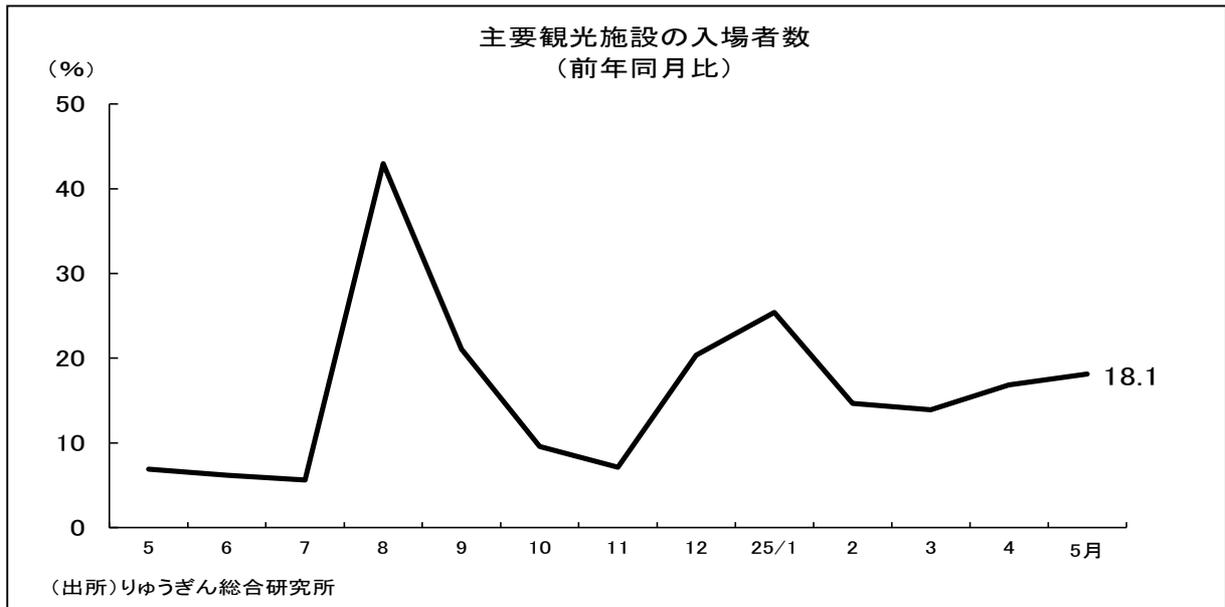
- ・ 主要ホテル（速報値）の客室稼働率は59.2%と前年同月差6.7%ポイント上昇し14カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比12.9%増となり、12カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテル（速報値）の客室稼働率は69.0%と同13.5%ポイント上昇し、17カ月連続で前年を上回り、売上高は同31.4%増と18カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）の客室稼働率は55.5%と同4.1%ポイント上昇し14カ月連続で前年を上回り、売上高は同9.5%増と12カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：12カ月連続で増加



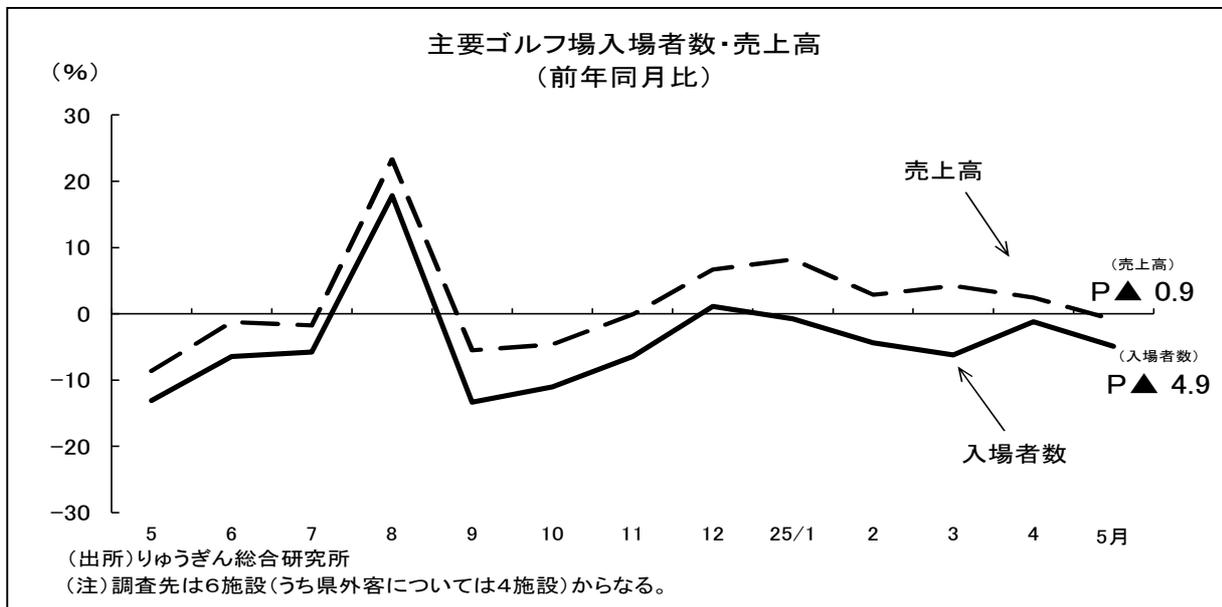
- ・ 主要ホテルの売上高のうち宿泊収入（速報値）は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比14.5%増と12カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同30.2%増となり17カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数が増加、宿泊単価も上昇し、同11.6%増となり12カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：39 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数は、前年同月比 18.1%増と 39 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 大型連休に伴う国内客の堅調な旅行需要や、クルーズ船による外国客の来訪が増え、好調に推移した。

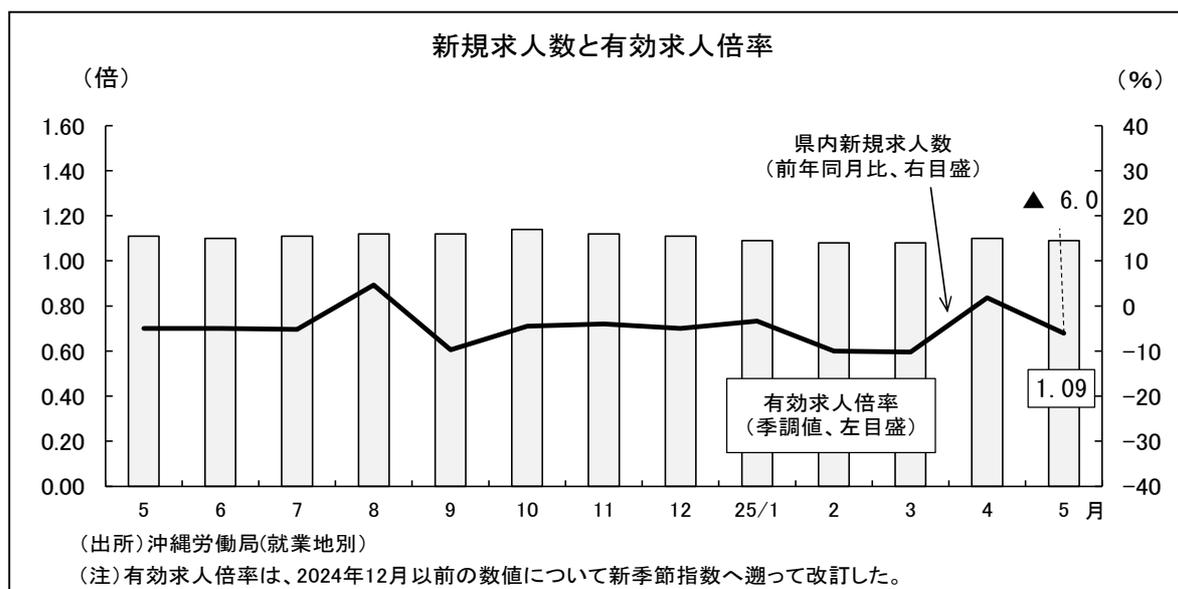
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は5 カ月連続で減少、売上高は6 カ月ぶりに減少



- ・ 主要ゴルフ場（速報値）の入場者数は、前年同月比 4.9%減と 5 カ月連続で前年を下回った。
- ・ 県内客は 9 カ月連続で前年を下回り、県外客は 3 カ月連続で前年を上回った。売上高は同 0.9%減と 6 カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 前年同月に比べ週末の悪天候が多く、入場者数と売上の減少につながった。

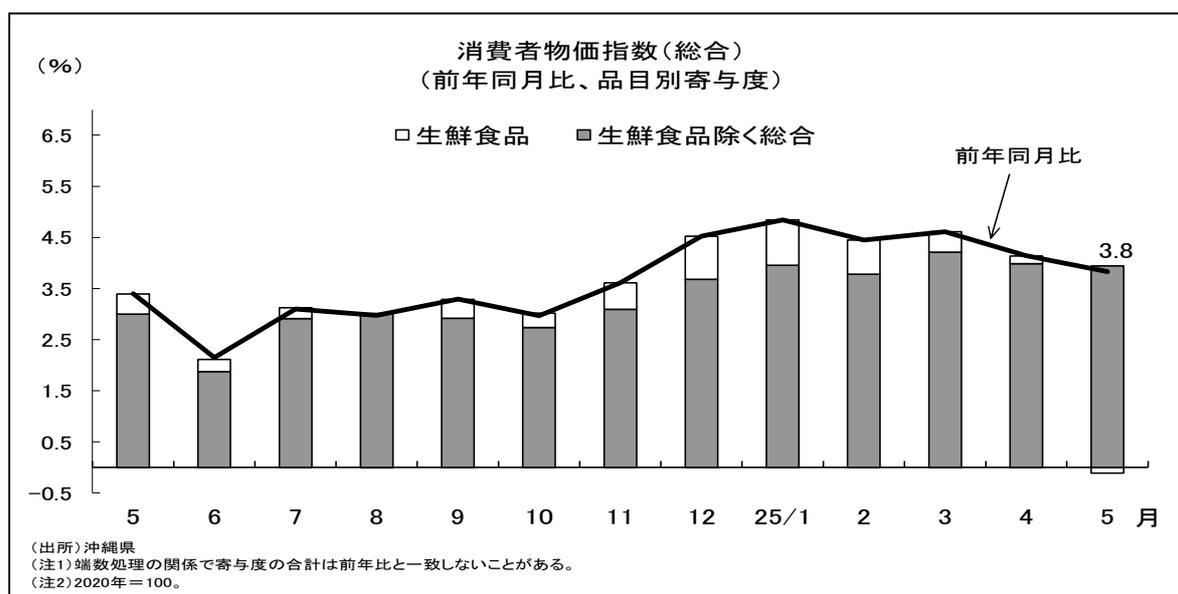
4. その他

(1) 雇用関連：雇用関連：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



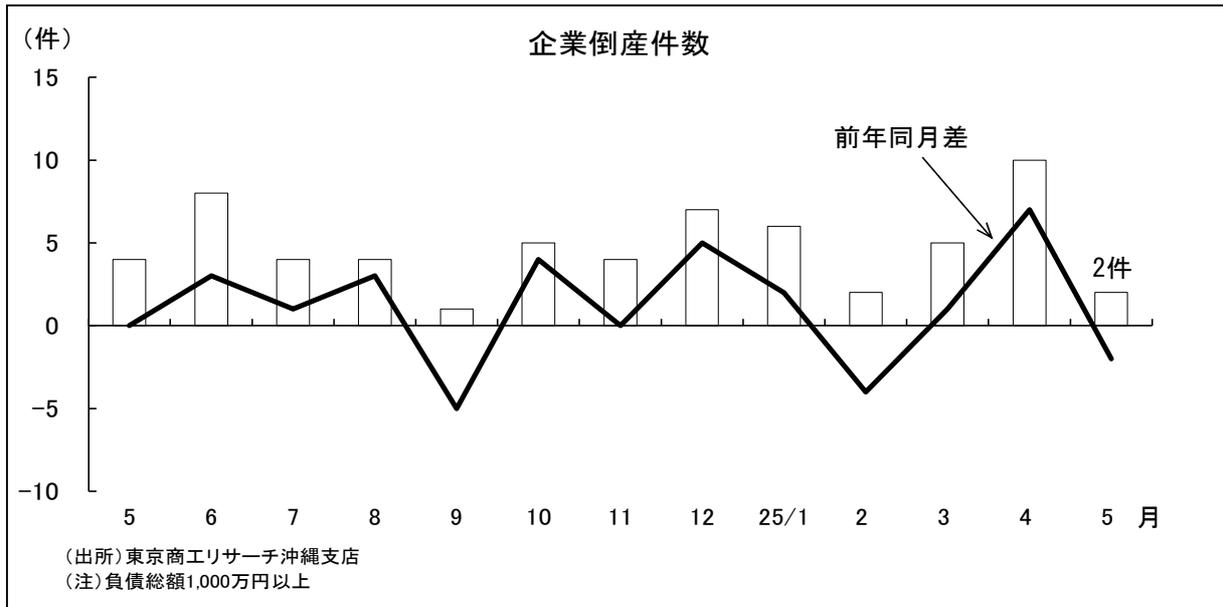
- 新規求人数は、前年同月比 6.0%減となり2カ月ぶりに前年を下回った。産業別にみると、運輸業・郵便業は増加したものの、情報通信業、宿泊業・飲食サービス業、製造業などで減少した。有効求人倍率（季調値）は1.09倍で、前月から0.01ポイント低下した。
- 労働力人口は、79万8,000人で同1.5%増となり、就業者数は、77万4,000人で同1.7%増となった。完全失業者数は2万3,000人で同8.0%減となり、完全失業率（季調値）は3.0%と、前月より0.9ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：45カ月連続で上昇



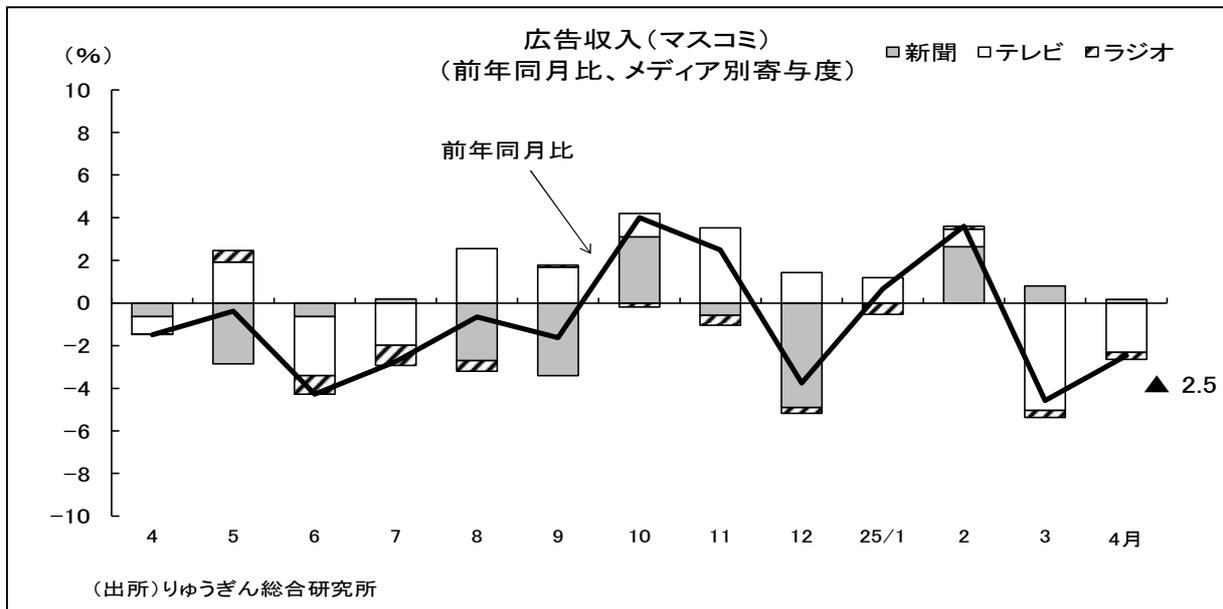
- 消費者物価指数は、前年同月比 3.8%の上昇となり、45カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同4.1%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同1.6%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、光熱・水道、食料などで上昇した。

(3) 企業倒産：件数は減少、負債総額は増加



- 倒産件数は2件で前年同月から2件減少した。業種別では、建設業が1件、小売業が1件となった。
- 負債総額は2億8,000万円で、前年同月比409.1%増となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月連続で減少



- 広告収入（マスコミ：4月）は、前年同月比2.5%減と2カ月連続で前年を下回った。
- 小売業やレジャー関連の広告需要がみられたものの、全体では前年を下回った。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

暦年	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2024 4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	29.3	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	134	▲ 16.2
7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	1.1	5.1	4.2	24,622	7.7	94	▲ 35.3
11	7.5	4.9	6.3	10.9	▲ 1.0	▲ 1.2	26,680	▲ 12.9	75	▲ 15.8
12	7.4	5.5	6.1	5.6	3.5	1.3	10,062	▲ 43.5	108	▲ 22.1
2025 1	11.5	5.3	6.1	8.9	38.5	1.6	20,977	▲ 50.2	72	▲ 7.2
2	3.4	0.2	1.0	4.2	43.1	▲ 3.9	26,062	▲ 51.7	64	▲ 15.0
3	▲ 0.3	P4.5	P5.2	6.6	22.3	2.0	141,950	88.1	121	17.0
4	4.9	P4.2	P4.2	▲ 10.8	21.2	2.1	20,078	41.1	116	6.9
5	4.1	P5.2	P5.0	-	9.6	-	21,968	▲ 2.0	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

暦年	新設住宅着工戸数		建設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼材 売上高	木材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	-	-	-
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	-	-	-
2024 4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	962	▲ 20.7	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	906	21.3	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
11	766	▲ 2.0	▲ 23.2	▲ 9.5	▲ 9.3	▲ 1.3	▲ 17.8	299.9	0.0	▲ 2.3
12	858	▲ 22.1	▲ 50.2	▲ 0.2	3.8	▲ 7.7	▲ 8.5	288.7	0.0	▲ 1.1
2025 1	522	▲ 32.0	141.4	2.6	5.5	▲ 1.6	▲ 4.9	290.5	0.0	0.0
2	605	▲ 5.5	10.2	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 1.8	▲ 13.1	289.7	0.0	0.0
3	1,155	81.0	▲ 46.4	11.5	1.5	3.6	▲ 5.2	297.7	0.0	0.0
4	1,034	21.4	▲ 46.3	5.5	7.7	25.7	▲ 4.0	295.4	▲ 3.4	▲ 1.1
5	-	-	▲ 37.0	1.1	▲ 2.5	▲ 11.9	▲ 8.5	291.4	▲ 10.3	▲ 4.6
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均=100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数のうち外国客		ホテル稼働率(実数)		ホテル売上高(前年比)		観光施設入場者数	ゴルフ場入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	51.3	17.6	▲ 5.6	6.9	▲ 13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	59.0	19.5	7.0	6.2	▲ 6.4
7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	5.6	▲ 5.8
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	43.0	17.8
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	62.1	35.4	11.4	21.0	▲ 13.3
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	69.7	30.2	8.1	9.6	▲ 11.0
11	810.8	17.8	174.0	91.0	77.5	63.4	33.2	11.0	7.1	▲ 6.5
12	809.5	21.4	197.2	107.1	73.0	53.7	20.9	15.5	20.3	1.1
2025 1	783.4	24.5	216.6	79.9	71.3	54.8	28.4	26.2	25.4	▲ 0.7
2	781.3	8.6	175.1	20.9	78.9	63.6	15.8	7.1	14.6	▲ 4.4
3	912.4	8.0	197.0	20.0	76.3	60.9	21.6	7.1	13.9	P▲ 6.2
4	865.8	15.1	267.3	68.2	73.5	63.9	19.1	8.8	16.8	P▲ 1.2
5	842.7	18.6	241.7	62.3	P69.0	P55.5	P31.4	P9.5	18.1	P▲ 4.9
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒産件数	負債総額		消費者物価指数	失業率(季調値)	就業者数	有効求人倍率(季調値)	新規求人数(県内)	広告収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲ 4.2	▲ 0.2
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.7	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	3.1	0.1	1.10	▲ 5.0	▲ 4.3
7	4	1,099	647.6	3.1	3.2	2.0	1.11	▲ 5.1	▲ 2.9
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.4	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6
10	5	537	168.5	3.0	3.4	▲ 1.3	1.14	▲ 4.5	4.0
11	4	287	20.1	3.6	3.2	1.0	1.12	▲ 4.0	2.5
12	7	491	346.4	4.5	3.1	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 3.7
2025 1	6	336	▲ 19.2	4.8	2.7	0.6	1.09	▲ 3.3	0.7
2	2	98	▲ 37.6	4.5	2.1	0.4	1.08	▲ 10.0	3.6
3	5	316	179.6	4.6	3.1	0.4	1.08	▲ 10.2	3.1
4	10	535	184.6	4.1	3.9	0.7	1.10	1.9	▲ 2.5
5	2	280	409.1	3.8	3.0	1.7	1.09	▲ 6.0	-
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課		沖縄労働局		りゅうぎん総研調べ	

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2024年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

年度	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	4,025	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	3,259	5,033	▲ 1,775	1.420	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	152	316	▲ 164	1.317	63,609	2.5	62,838	2.6	42,858	3.1
7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	1.316	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	242	492	▲ 250	1.373	62,937	1.7	62,115	1.5	43,558	4.6
11	208	362	▲ 154	1.374	63,526	2.4	62,719	2.4	43,885	5.1
12	476	211	265	1.420	63,599	2.6	62,829	2.7	43,933	4.0
2025 1	161	589	▲ 427	1.423	62,709	1.7	61,867	1.6	44,059	4.3
2	217	385	▲ 168	1.420	62,619	1.7	61,886	1.8	44,573	5.1
3	252	390	▲ 137	1.487	62,889	0.1	62,117	0.1	45,239	3.9
4	250	333	▲ 82	1.531	64,184	1.3	63,446	1.3	44,886	5.3
5	-	-	-	-	-	-	63,253	1.5	44,954	5.3
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

年度	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
	億円	前年比	億円	前年比	2020年=100	前年比	百万円	百万円
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	-	-	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	-	-	52,671	288,310
2024FY	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	-	-	41,614	304,121
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	72.5	▲ 0.6	7,384	25,091
7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	71.3	▲ 9.4	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	74.0	1.5	2,062	14,711
11	9,631	▲ 6.4	2,778	▲ 6.0	69.8	▲ 9.4	1,968	24,723
12	9,600	▲ 6.3	2,761	▲ 6.3	92.8	▲ 0.9	2,040	45,032
2025 1	9,567	▲ 6.2	2,747	▲ 6.4	92.7	▲ 12.7	1,915	22,405
2	9,512	▲ 6.8	2,717	▲ 7.1	80.5	▲ 13.9	11,433	22,700
3	9,827	▲ 3.6	2,696	▲ 7.8	91.1	0.4	2,631	17,269
4	9,768	▲ 3.7	2,660	▲ 7.7	-	-	1,975	21,291
5	9,725	▲ 3.5	2,636	▲ 7.7	-	-	1,841	37,615
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2024年11月より2020年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。